

# 児童発達支援評価表

(別紙2)

公表日 2025年2月28日

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。  
「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10				・活動スペースも広く確保されていて、のびのび活動できています。 ・活発な子供に向けた屋外などもあると良いです。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	2		1	・十分な配置数だと思います。 ・多すぎても子どもが混乱するので少人数で良いと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	2		3	・どの空間で何をする場所なのかをわかりやすくされていると思います。 ・すべての教室を把握していないので。 ・階段のみなので、身体障害児にとったらどうなのかわからない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				・部屋が色分けされているので子供にもわかりやすく活動ごとに決められた場所で安心して過ごせていると思います。 ・子どもが機嫌良く過ごしているようです。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				・子供の特性を理解して支援してくれています。 ・少しずつ確実に成長していることが感じられます。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10				・支援計画を元に理解して支援していただけてると思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	10				・しっかりとていないな計画を立ててくださっていると思います。 ・子どもの成長の段階に合わせていただいています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8			2	・全てを含めてそれぞれの支援目標や支援内容を具体的に設定されていると思います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9			1	・十分に行われていると思います。
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10				・いろんな活動があり毎回いろんな経験をさせていただいています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7		2	1	・ペアの枠ではほかのお友達とも活動しています。 ・現状は特に機会がありませんが、特に希望していないので問題ありません。 ・以前はこども園で一時預かりをお願いしていたが、行けなくなり、療育を受けることによりまた通うことができるようになってきたような感じがする。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10				・利用開始するにあたり契約時に説明を受けました。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1		1	・説明は分かりやすくしっかりとしてくれています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	1	2	・家族へのフィードバックと家庭支援を定期的にしてしてくれています。 ・研修会のようなものはないが、個人的に相談したいことがあるときは迅速丁寧に対応していただき、とても助かっている。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10			・その日のレッスン内容や様子をLINEや口頭で報告してくれて情報を共有しています。 ・都度連絡を取り合い、共有できています。 ・毎回、子どもの様子を写真・動画を添えて細かく伝えてくれるので安心です。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10			・必要があれば個別面談をしてくれます。先生方も話やすく相談しやすいです。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			・相談事に関するアドバイスをもらったり親身になって話を聞いてくれます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	3	5 ・まだ保護者どうしの交流やイベントは開催されていませんが今後機会があれば参加したいと思います。 ・現状特に希望しておりませんので問題ありません。 ・保護者会やイベントはないが、主人と私の2人で直接話し合いをする機会を作ってくださいたりと家族は認でお世話になっている。 ・悩み事や相談事があれば迅速に対応してくれます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			・送迎時やLINEで子供の様子などや情報伝達をしてくれています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			2 ・毎回その日の活動内容をお写真をLINEで送っていただけるのでありがたいです。 ・ブログの更新まで手が回っていない印象です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1 ・契約時に説明を受けました。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	3		1 ・契約時に説明を受けました。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	1	5 ・子どもの話より、されていることを認識する形です。 ・避難訓練を行なったという話は、通い始めてからまだ一度も聞いたことはない。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			・十分に行われていると思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			2 ・契約時に説明を受けました。 ・行き違い等があったことはありますが、特に問題はありません。 ・この状況に至ったことがないから「わからない」を選びました。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10			・いつも喜んで通っています。子供にとって楽しい場所であり安心できる場所にもなっています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10			・毎回楽しみにしています。笑顔で通い楽しく学べていると思います。 ・保育園より楽しみにしています。 ・通所がない日は「行きたかったのに」と言う程楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10			・子供に寄り添いいつも丁寧な対応をしていただきありがとうございます。安心して子供を通わせられています。 ・通所できる日時がもう少し増えるとありがたいです。 ・楽しんで学んでくれているので満足しております。

- 
- ※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。
  - ※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
  - ※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時
  - ※4 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
  - ※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。